緑のボランティア通信

2023.2.1　NO.82

第19回
わがまち花と緑のコンクール
応募期間 3月10日～4月14日

市内の花と緑による美しい景観を発掘し、それを創りだしている方々の活動を紹介し、市民の交流を深めることを目的に実施します。応募作品の審査は、市民による運営委員の現地調査や予備選考会を経て学識経験者等による選考委員会で決定いたします。団体・個人ともに入賞作品と大賞作品が選出され、その結果を６月24日（土）中原市民館で行われる表彰式で発表します。応募方法は応募用紙（区役所等配布、もしくは当協会ＨＰ）に必要事項を記入し、写真４枚貼付の上、郵送ください。ぜひ、この機会にご自宅の花壇や、ご近所の素敵な花壇等をご紹介ください。皆さまのご応募をお待ちします。

応募用紙のダウンロードはこちら➡
当協会ＨＰ

かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目 次

わがまち花と緑のコンクール募集	1
開催報告／お知らせ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4

開催報告（９月～１２月）

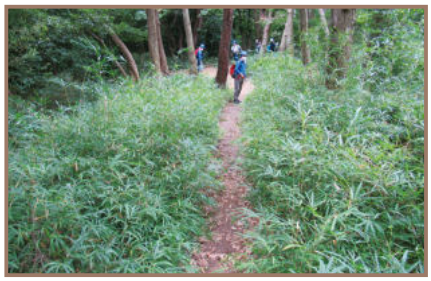
寄せ植え講習会

１２月１４日（水）及び１５日（木）に川崎市総合自治会館で寄せ植え講習会を開催し、２日間で延べ４２団体１０２名の方にご参加いただきました。今年も講師として「ことみどり」代表の山口吾子先生をお招きし、「春の足音を楽しみに♪ビオラとチューリップの寄せ植え」をテーマに講義をいただきました。参加者の方も自分自身で作った世界に一つだけの寄せ植えに大変ご満足いただきました。

里山ボランティア育成講座「かわさきの森づくり」

９月に山口白山公園（麻生区）、１０月に平特別緑地（宮前区）、１１月に生田寒谷特別緑地（多摩区）、１２月に岡上梨子ノ木特別緑地で開催し整備活動を行いました。また９月は作業後に講義編で、市の施策や安全管理等を学びました。

写真は９月の同じアングルで撮影した作業前・作業後と講義編の写真です。


作業前

作業後

講義編

こども黄緑クラブ

９月に「水辺の生き物」、１０月に「トンボとり大作戦」、１１月に「生き物みつけ」をテーマに観察会を行いました。様々な昆虫や植物を発見・体験し子ども達はもちろん、保護者の方も楽しめる会となりました。

また、１２月は大人編として東高根森林公園で緑地散策を行いました。

９月「水辺の生き物」

１２月大人編「緑地散策」

お知らせ

「緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー」の掲載団体募集しています‼

設立○周年の記念や、活動をもっとアピールしたい等とお思いの方は是非当協会までご連絡ください。

緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

高石6丁目南公園愛護会（2019年設立）

活動場所　高石６丁目南公園（麻生区高石６丁目23）
交通案内　小田急バス「原店前」バス停下車　徒歩約５分

当会の活動場所である「高石６丁目南公園」はツツジの咲き誇る公園でしたが、いつしか「花の咲かない公園」と言われるようになっていました。花が咲かなくなった原因の一つに、公園の拡張工事後に増えたボール遊びに起因する花壇への踏み込みが挙げられました。そこで、公園の管理をされていた見目真由美さんが残っているツツジの保護を計画され、数名の仲間と共に「安全で綺麗な公園」を目指して公園整備活動を開始いたしました。これにより、川崎市道路公園センターにお願いして再生不可能なツツジの撤去を行い、その空き地に会員が自宅の花を持ち寄って植えるという、花壇の再生活動がスタートしました。

その後、「川崎市公園緑地協会　緑の支援推進課」の御援助を得て、「花壇の土壌改良」や「杭の設置や立ち入り禁止の看板設置による踏み荒らしの防止」に尽力しました。その結果道路側の花壇には紫陽花の花が咲くようになり、通行される方の中には写真を撮られる人も見受けられるようになりました。

今後も公園の管理者と連携して、「安全で草花を楽しめる公園」を目指したいと思います。　（古谷 英二）

野川第３公園管理運営協議会（2006年設立）

活動場所　野川第３公園（宮前区野川台２丁目８－１）
交通案内　東急バス「野川台」バス停下車　徒歩１分

野川第３公園は、昭和 37 年に野川台住宅地開発と共に造られた公園です。

平成 18 年に公園管理運営協議会が設立され、令和４年に野川台自治会内に協議会が移管されました。活動も引続き花壇運営、木々の剪定、雑草取り、春夏の草刈り、秋冬の枯葉清掃、そして遊具の安全チェック等、月２回の定例活動と、週２～３日有志で活動しています。

次に野川第３公園をご紹介します。学童クラブやこども達を中心とした自然とふれ合い遊ぶサークル、そして小学生の校外学習の場としても多くのこども達が来てくれます。カラフルな遊具はこども達に人気です。

地域の福祉サークルも健康体操の会場として利用してくれます。

園内の「東屋」は散歩に訪れる人々のいこいの場になり、親子２代で利用している常連さんもいます。地下には災害時応急給水貯水槽があり、給水拠点になっています。

みやまえご近所ピクニック会場にもなり、地域に根づいた大小多くの木々に囲まれた自然あふれる公園です。　（岡本 明久）

＊＊＊ flowerbed ＊＊＊

winter

いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ワンポイント　鉢の選び方について

花壇にも置けてオシャレに飾ったりも出来る鉢がたくさんありますね。
素焼き鉢は重たいですが、鉢全体から呼吸が出来るので、根が張りやすいです。
ただし使っていると肥料の成分（アク）が表面に白く出てきてしまいます。
これは洗い流してもまた出てきます。（カビの場合もあります）
外に置いておく分には、白いアクが良い感じになると思いますが、
室内では擦るとアクの粉が落ちてしまうので、プラスチック素材が良いと思います。
鉢底から根が出たら、植え替えの目安です。時期を見て植え替えましょう。

No.37 ヒューケラ（ツボサンゴ）＊常緑多年草

＊開花期　5月～7月
＊花言葉　辛抱強さ・恋心

カラーリーフとして優秀な植物です。一度根付いてしまえば、半日陰でも育ちます。

販売時は直径10㎝程度ですが、翌年には20㎝以上になります。

常緑と言いますが、冬は葉が少し傷んでしまう印象です。心配しなくても春になると復活します。

葉色は多色で自分が知っている色だけでも10種類以上あります。花のない時期にも葉で色添えをしてくれて、開花期には可愛らしい花を付けます。春先に古い葉っぱは取り除いて、風通しを良くしてあげましょう。害虫はヨトウムシ・アブラムシ等に注意しましょう。

No.38 スイートアリッサム＊1年草

＊開花期　10月～4月
＊花言葉　優美・飛躍

冬を代表する草花の1つですね。

花色は白・ピンク・紫・薄紫・黄色・アプリコットなどです。植える時は水はけの良い場所で、日向で育てましょう。

夏の暑さや、蒸れには弱いですが寒さには強いです。

寄せ植え・バスケット・ハンギング・ギャザリング等にもよく使われます。

最近ではスーパーアリッサムが登場し、１株で30㎝位まで大きくなる。多年草の品種も良く見られます。

花色は白・紫があり、斑入り葉もありますので、育ててみてください。

（株）泉樹園（せんじゅえん）、手塚賀久

公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識していただくコーナーです。
このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。ぜひ参考にさせていただきます。

発行・編集
(公財)川崎市公園緑地協会　緑の推進支援係
〒211-0052　川崎市中原区等々力 3-12
電話　044(711)6631　FAX　044(722)8410
https://www.kawasaki-green.or.jp